

# おびひろ 市議会 だより

NO. **35**  
令和3年  
9月定例会号

児童会館に新しくできた「いろいろぱーく」

## 提案された令和3年度補正予算の内容（一部抜粋）

### 通常案件

令和4年度からの火葬場の民間委託に向け、委託業者の選定委員会を設置

令和2年度のばんえい競馬の収益の一部(2,453万円)を、市単独開催以降初めて、市が行う一般的な行政サービスの財源として活用



### コロナ対策関連

8月27日から9月12日までの北海道からの営業時間短縮などの要請に協力した飲食店などに、15万円の市独自の支援金を支給

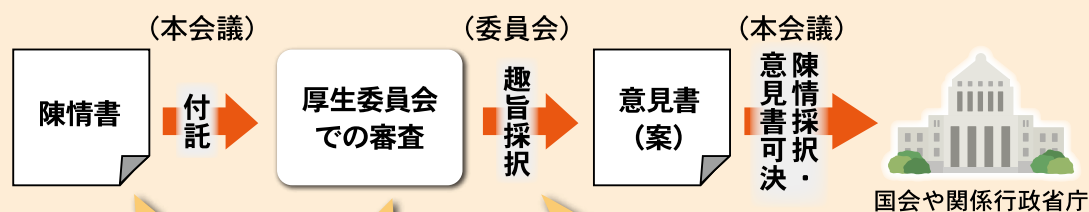
コロナの影響で売上が落ちたものの、北海道の支援金の対象とならない酒類販売事業者に対し、法人20万円、個人10万円を上限とした市独自の支援金を支給

議案審査特別委員会を設置・審査後、本会議において全会一致で原案のとおり可決

→ 主な議論の内容は4ページに掲載

### 陳情第3号「安全・安心の医療・介護の実現」を求める意見書提出について

### 意見書第6号 安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書について



下記内容の意見書を国などに提出してください

陳情のとおり、意見書を提出すべきか？

趣旨には同意できるため、内容を少し修正した意見書を提出しよう

#### 「安全・安心の医療・介護の実現」を求める陳情書

安心して暮らせる社会の実現のため、医療・介護・福祉、公衆衛生施策などの拡充を図るよう、関係機関へ次の内容を求める意見書の提出を求めるもの。

- ・新たな感染症などに備えた財源確保と公衆衛生施策の拡充
- ・医療・介護従事者などの大幅な増員
- ・社会保障にかかわる国民の負担軽減 など

趣旨には同意できるため、内容を修正した意見書を全会一致で可決し、提出。



意見書の内容はこちら

## 定例会の概要

令和3年第6回定例会を9月6日から10月1日までの26日間の会期で開催しました。

令和2年度各会計決算をはじめ、令和3年度一般会計補正予算（第9～12号）・条例の改正などを審議したほか、19人の議員が一般質問を行いました。（2～3ページ参照）  
また、すべての議案を、原案のとおり可決・認定しました。

陳情1件を議決、新たな陳情1件を付託  
意見書3件を国会等に提出

陳情第3号は採択と決定し、同様の趣旨の意見書を全会一致で可決しました（左図参照）。また、それ以外の2つの意見書も全会一致で可決し、併せて3つの意見書を、国会や関係行政省庁へ提出しました。  
陳情第5号「帯広市内事業者への時限救済制度立案の際の給付条件について」は経済文教委員会に付託し、閉会中継続審査を行うことに決定しました。

## コロナ対策関連予算などを審議・可決（9月定例会）

### 目次

定例会の概要	1
一般質問	2～3
議案審査特別委員会・決算審査特別委員会の審査概要	4
本会議での討論、賛否の分かれた議案など	5
常任委員会等の動きなど	6

※ 本号では、新型コロナウイルス感染症のことを「コロナ」と略して表記しています。

# 一般質問

一般質問では、議会に提出された議案などに関わらず、市の一般事務や将来に対する方針など市政全般について質問することができず。

帯広市議会では、一括方式と一問一答方式の選択制を採用していますが、質問時間はいずれも答弁を含めて60分以内としています。

このほか、3月議会では、会派を代表して行う代表質問があり、一括方式で答弁も含め90分以内としています。

なお、一般質問は、定例会でのみ行い、臨時会では行っていません。



今野 祐子 議員  
(公明)



## ヒグマの市街地出沒対応と災害時用の生理用品の備蓄・配備状況

**質** 一昨年の冬、市内の小学校にヒグマが出没し大きな騒ぎとなったが、昨年度のヒグマの駆除実績を伺う。

**答** 昨年度はヒグマ14頭を駆除。

**質** 道は、来年春にヒグマ管理計画を改定することだが、市の対応を伺う。

**答** ヒグマの生息数はここ30年で倍増。道の計画も踏まえ、ヒグマが市街地に出没した場合の対策を検討する。

**質** 女性避難者用の生理用品について、各避難所への配備状況を伺う。

**答** 生理用品は今年度860個購入しており、今後5力年で3120個を備蓄予定。現状は一括保管しており、避難所開設時には、各避難所に配布する予定。



石井 宏治 議員  
(市政)



## 人口推計と人口対策市の公共事業について

**質** 釧路市では大手企業の撤退もあり、昨年度は釧路市から1000人超の転入超過。広域的な視点で人口対策が必要では

**答** 十勝圏のみならず、より大きなエリアである東北北海道の各都市が、それぞれの持つ強みを生かしながら、圏域内の結びつきを強くし、魅力や活力を高めていくことが、人口対策をすすめていく上でも重要な視点であると認識する。

**質** 工事成果品検査の簡素化の取組みがすすんでいないと聞くが、対応状況は

**答** 土木工事で旬報を廃止し簡素化の取組みをすすめているが、このほかの対応については、庁内関係課による議論・検討をすすめている。



稲葉 典昭 議員  
(共産)



## コロナの子どもへの感染拡大防止に検査の拡大と保護者支援を

**質** 学校でコロナが広がる中、国のガイドラインでは、1人でも感染者が出た場合、学級全員を検査対象とすることが考えられるとしているが、検査体制は

**答** 保健所と行政検査の考え方を確認しながら助言などをいただいている。

**提言** 検査数を増やし、無症状の感染者を保護する体制の強化を。

**質** 休校などに伴う親の「休暇」の支援策が再開。保護者への周知は

**答** 対象者に幅広く周知したい。

**質** ひとり親や非正規、エッセンシャルワーカーなど、休むことが不可能な親の対策についても真剣に検討すべきでは

**答** どのような措置が可能か検討する。



大林 愛慶 議員  
(立憲)



## 8月期「コロナ感染急激に拡大」感染者への支援体制の充実を！

**質** 緊急事態措置が延長される中、十勝でも8月期のコロナ感染者が600人超急増。一時は自宅療養者が140人超の事態となった。適切に医療を受けられる体制と、独り暮らしの感染者などを支援するためのチームをつくるべきでは

**答** 保健所による健康観察が行われ、緊急時の連絡体制も整っているが、保健所の要請を受け、8月中旬より保健師を派遣し支援を行ってきた。希望者には10日分の食料や日用品の提供もされているほか、医師会や薬剤師会が連携することで、自宅に処方薬の配送も行われており、当面の間必要な支援は行われている。

**提言** 最悪の事態を常に想定し準備を。



藤澤 昌隆 議員  
(公明)



## コロナ禍の経済対策について子宮頸がんワクチンの本市の取組み

**質** コロナ禍における経済対策について、街中のにぎわいをどう取り戻すのか、また、どう観光を立て直すのか伺う。

**答** 個人消費や観光事業の回復に向けて、プレミアム商品券や宿泊施設の割引補助に取り組んできた。引き続き感染状況を見極め、社会経済活動の回復を図っていく。

**質** 令和2年度のHPVワクチンの接種件数と令和3年度の周知について伺う。

**答** 接種件数は185件。周知は中1から高1相当の年齢の方に対し2580件の個別通知を行った。

**提言** 厚生労働省作成のパンフレットをぜひ学校現場に置いていただきたい。



菊地 ルツ 議員  
(立憲)



## スポーツ施策に共生社会の取組みを未実施の一時生活支援事業の実施を

**質** 市の障害者スポーツの窓口がどこか市民から見えない。市の対応を伺う。

**答** 今後は、庁内関係各課や団体などと連携し、相談対応にあたっていく。

**質** 一時生活支援事業の取組みの必要性について、市の考えを伺う。

**答** コロナ禍により失業や所得減少などの経済的な影響を受ける方が拡大する中、ニーズが高まっていると考えている。

**質** 市として、取り組む考えは

**答** 寒冷地において住居がないということから、命に直結する問題となることから、事業の必要性を認識している。今後、地域福祉計画を推進していく中で、引き続き検討していく必要がある。



大塚 徹 議員  
(市政)



## 米沢市長二期目の検証〜十勝は本当に一つになれたのか？〜

**質** 市長は、就任以来、十勝は一つをスローガンとしてきたが、3期12年、広域連携にどのように取り組み、どのような成果が生まれてきたと考えるか。

**答** 十勝・帯広の発展の可能性を信じ、フードバレーとかちや定住自立圏などの取組みをすすめてきた。基幹産業である農業を中心に関連産業の振興をすすめてきたことで、域外からの投資や前向きにチャレンジする人たちが集まるなど、地域産業の活力向上につながってきた。

**提言** 今は十勝にとどまらず、帯広市が道東の拠点都市としての地位を固めると

き。道東広域化は、次期市長のまちづくりの重要な指針としていただきたい。



椎名 成 議員  
(公明)



## いわゆる交通弱者へのさらなる支援をタクシー業界への早急な支援を

**質** 他都市では、70歳以上の高齢者の方で運転免許証を自主返納した方にタクシー券を交付している。市は、こういった取組みを行う考えはないのか伺う。

**答** 現行の制度を実施しながら、他市の状況なども注視しつつ、公共交通機関の実情や公平性・継続性を考慮した上で、事業の必要性や移動支援が必要な対象者の範囲などについても調査研究していく。

**質** 貴重な地域の交通手段であるタクシーだが、コロナ禍で苦しい経営の状況が続いている。タクシー事業者への財源措置を検討していく考えは

**答** 国の動向を踏まえ検討していく。



佐々木直美 議員  
(立憲)



## コロナ禍、アフターコロナでの財政について

**質** 高等教育機関誘致のため創設された「高等教育整備基金」の残高が30億6000万円となっており、一部の市民からはコロナ対策の原資として、活用を求める声があるが、市の見解を伺う。

**答** 財政調整基金の活用がまず考えられるが、他の基金についても、それぞれの基金設置条例に規定されている目的に沿った事業であれば、財源として活用することができると考えている。

**提言** コロナ対応において、経済対策としての商工観光振興基金、教育環境対策としての教育振興基金、こども学校応援

地域基金などの活用を視野に入れた検討を要望する。

※距離を取るなどのコロナ対策を実施しながら質疑を行っています。

### コロナ禍における事業者支援 ひとり親の経済的安定を



林 佳奈子 議員  
(市政)



**質** 国・道・市からの各種支援金の対象から外れ、コロナ禍で収入減が続いている事業者に対する支援の考えは。

**答** 事業者に及んでいる影響や施策による効果、その必要性などについて慎重に考慮しながら検討していく。

**質** 経済的困難、不安定な就労状況にあるひとり親への養育費の不払い解消や立て替えなどのサポート事業を行う考えは。

**答** 養育費の立て替えや書類作成費用助成は、債権回収の難しさや費用対効果などの課題があるものと認識している。



大平 亮介 議員  
(共産)



### 「国民の権利」としての生活保護制度に ケースワーカーの充足を早急に求める

**質** 生活保護のケースワーカーの人員不足が常態化している。市の現状は。

**答** 平成20年から令和2年までの13年間、人員配置の指摘を受けている。指摘内容はケースワーカーの所要人数の充足に努めるよう求められている。

**質** ケースワーカーの人員不足によって懸念されることは。

**答** ケースワーカーが担当する世帯数が増加すると、各世帯に引き合い対応する時間が足りなくなることが懸念される。

**質** ケースワーカーの充足の見込みは。

**答** 会計年度任用職員も含めた体制の工夫を図る。職員が市民対応に十分従事できるように、業務の効率化をすすめる。

### コロナの対応について



小森 唯永 議員  
(開政)



**質** 現在、タクシー運転手の方は580人程度と伺っているが、1人当たり10万円程度、総額5800万円を支給してはどうか。

**答** 市民生活を支える移動手段の一つとして、公共交通サービスの確保は重要と考えており、今後、国の財政措置などの動向を踏まえながら検討する。

**提言** コロナに対し、本市でも様々な対策をしてきたが、いまだ手つかずの人たちもいる。運送業、タクシー、運転代行、観光バスの運転手などの人たちの収入は、歩合制もあり、3分の1から2分の1程度となったと伺っている。早急な経済救済策を強く要望する。



鬼塚 英喜 議員  
(市政)



### コロナ禍の地域資源を活用した観光振興 コロナ対策

**質** コロナ禍の観光のV字回復は非常に厳しいと言われていたが、ウイズコロナ・アフターコロナを見据えた市の観光振興中期ビジョンの考えは。

**答** 感染症を契機としてアウトドアや域内観光への志向の高まりなど、旅行ニーズの変化を的確に捉え、ウイズコロナ・アフターコロナの観光需要獲得に向けた取組みをすすめることが重要と考える。

**質** 市内で自宅療養しているコロナ感染者に対する医療体制を伺う。

**答** 自宅療養において薬の処方希望がある場合など、必要な医療が提供されるよう、保健所が受診調整などを行い、往診や電話による診療を行っている。

### コロナ禍で深刻化する子どもの 貧困をなくすために本気の取組みを



杉野 智美 議員  
(共産)



**質** 学校健診の尿検査で精密検査が必要な児童・生徒のうち未受診の割合は、小学校で54・1%、中学校で96・6%。心電図検査では小学校で38・2%、中学校で48・1%となっている。未受診の子どもの背景に「子どもの貧困」の現状が隠れているのか、一人ひとりの対策が求められているのではないかと。

**答** 学校保健会役員会で未受診を減らすため、情報提供の呼びかけなどを始めた。

**質** 児童憲章では「すべての子どもは疾病と災害から守られる」と記しているが、子どもの医療費助成の対象年齢引き上げと所得制限撤廃の考えは。

**答** 継続的な財源確保などの課題がある。

### 結婚支援対策・コロナ対策 学校教育における学びの保障について



小椋 則幸 議員  
(市政)



**質** 結婚に至るまでの支援として、困り事に対する相談や情報提供などを行う窓口設置の考えを伺う。

**答** 他自治体の導入事例のほか、少子化対策への効果がどの程度現れているのかなど、情報収集していく。

**質** 市内の医療機関では、抗体カクテル療法を実施しているのか。また、費用はどのようになっているのか伺う。

**答** 市内の医療機関においても実施されており、費用は公費負担となっている。



上野 庸介 議員  
(市政)



### 新しいスポーツに対する支援に ついて

**質** 新しいスポーツへの理解と、その支援についてどのように考えるか。

**答** どのようなスポーツにおいても、プレーヤーのほか、そのプレーヤーをまとめ、支える存在が不可欠。組織的な活動やスポーツ協会への加入など、継続した活動に向けた相談に対応することが可能。

**質** 釧路にはスケートボードパークが整備されている。そうした練習場所整備に對して帯広市としての考えは。

**答** 市民の活動が活発になり、地域に愛好者が増え、施設整備の機運が高まれば、既存施設の多目的利用などの可能性について状況を確認してみたいと考えている。

### 帯広市教育基本計画と教育について



木幡 裕之 議員  
(市政)



**質** 情報モラルの考え方について伺う。

**答** 人権や人間尊重の考え方など、情報モラルの必要性や情報社会での行動のあり方、責任を考えさせ、情報化社会に参画する態度の育成に努める。

**質** 給食における有機野菜、オーガニック野菜使用の取組みについて伺う。

**答** 有機野菜の使用率は12・5%であり、今後も調達可能な範囲で使用していく。

**質** 施設の連携によるアイヌ文化とのふれあいゾーン形成事業について伺う。



鈴木 正孝 議員  
(無所属)



### スポーツ環境の充実 気候変動から気候危機へ

**質** 東京オリ・パラを機に、市はスポーツ施策にどう取り組んでいくのか。

**答** 現在の充実したスポーツ環境を生かしながら、市民の多様なニーズに合わせた取組みを行うことが必要。

**質** 障害者スポーツへの考え方を伺う。

**答** 誰もが一緒に楽しむことができ、自然な形で障害のある人や体力のない人への理解が深まり、共生社会にもつながる。

**質** 気候危機の問題は、行政の取組みだけでなく、市民の協力を得ることが大切であると考えるが、見解は。

**答** 幅広い市民や企業の参画の下、環境に配慮した生活様式を根づかせながら、持続可能なまちづくりにつなげる。

令和3年度補正予算などに対する  
主な議論【議案審査特別委員会】

緊急事態措置協力支援金

○ 緊急事態宣言に伴い北海道が要請する営業時間の短縮などに協力した市内の飲食店などに対し、市独自に支援金15万円を上乗せして支給することであるが、各店舗の要請に対する対応状況の確認や、事業者が申請する際の手続きの簡略化などに努めるべき。

ばんえい競馬の決算剰余金

○ ばんえい競馬の令和2年度の売上げが前年度の約1.5倍の483億円となり、収支においても3億円以上の収益があった。今後、不測の事態により競馬を開催できない場合などに備えた積立てや、市の一般的な行政サービスの財源として活用することであるが、積立てを行う理由や収益の使い道などについて、競馬関係者に対する丁寧な説明に努め、一丸となって競馬運営をすすめるべき。



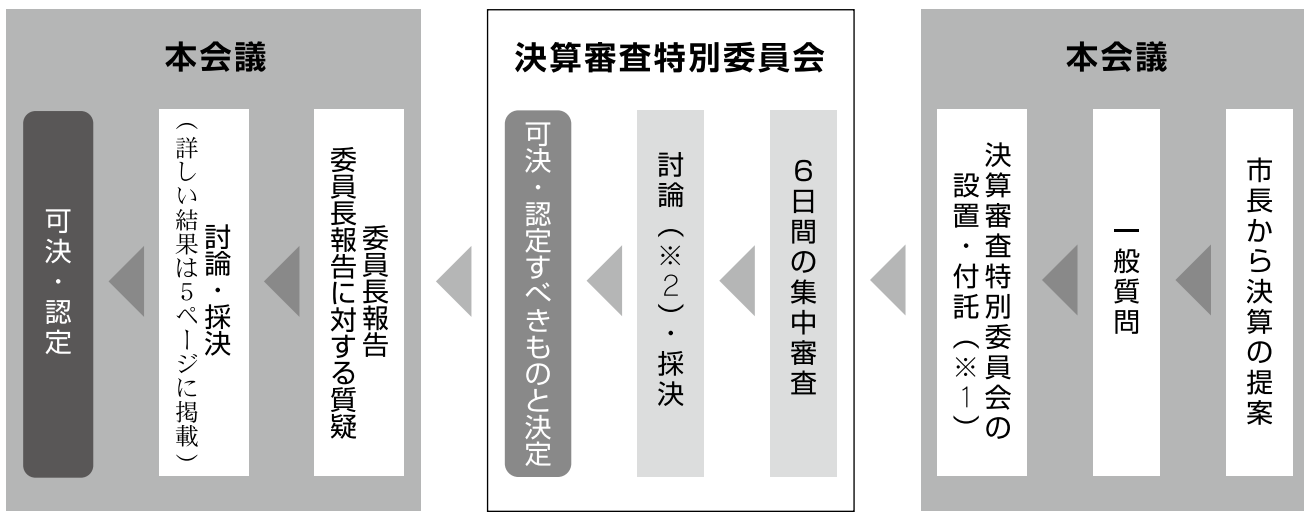
認定こども園の整備補助

○ つつじが丘幼稚園の教室の一部を1、2歳児の保育室に改修し、低年齢児の受け入れ枠の拡大を図るとのことであるが、今後も低年齢児の保育ニーズは高いことが見込まれていることから、不足している保育士確保に努め、低年齢児の受け入れ体制の充実を図るべき。

決算審査特別委員会の審査概要

9月定例会では、市長から提案された令和2年度各会計決算について、決算審査特別委員会を設置し、予算が効率的かつ有効に使われているかなどの審査を行いました。  
委員会での主な議論の概要について掲載します。

【審査の流れ】



審査1日目

自主防災組織の結成

○ 災害が発生した際に、住民が協力し自主的な避難を行うために結成される自主防災組織は、防災・減災の観点から重要であるが、その結成数はすんではない。地域防災リーダーの育成などにより、自主防災組織の結成を促進するべき。



町内会の活動支援

○ コロナ禍での町内会活動の自粛や制限による活動意欲の低下が危惧されることから、町内会の動向を把握し、必要な支援に努めるべき。

審査2日目

ひとり親世帯への就業支援

○ ひとり親の方からは、働きたいが子どもを預けることができず、面接にも行けないという声を多く聞く。求職活動時に安心して子どもを預けられるサービスの導入など、ひとり親世帯のニーズに合った就業支援策を検討すべき。



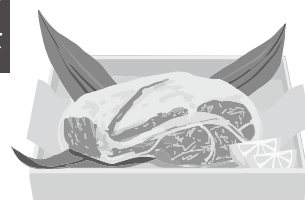
新エネルギー導入促進

○ 太陽光発電システムなど、家庭での温室効果ガス削減につながる機器を導入する際の補助金は、温室効果ガス削減量の多い機器への予算配分を厚くするなど、制度の見直しを行うべき。

審査3日目

十勝和牛の生産振興

○ 市内で肉用牛の生産を行う農家が増えており、産出額も年々上昇している。市が飼養技術向上や施設整備などを積極的に支援し、十勝和牛のブランド力を高めていくべき。



ジョブジョブとかちシニア

○ 働く意欲のあるシニア世代と企業とのマッチングを行うジョブジョブとかちシニアは、シニア求職者の登録がまだまだ少ない。様々な工夫により、登録拡大に努めるべき。

審査4日目

自転車歩行者道などの整備

○ サイクルツーリズムの人気の高まりやトカプチ400のナショナルサイクルルートへの指定など自転車活用の機運が高まっているため、自転車が利用しやすい環境づくりに向け、現状に合った整備・活用計画の策定をすすめるべき。



市営住宅の募集要件の緩和

○ 市営住宅は空室が多いため、人数要件の緩和や再募集時の年齢制限の撤廃などにより、もっと応募しやすくすることで、空室解消をすすめるべき。

審査5日目

おびひろ動物園

○ 園内ではフリーWiFiが利用でき、動物のガイド動画などを視聴する際に便利であるが、利用可能範囲がキリン舎周辺やフラミンゴ舎周辺などに限られている。利便性向上のため、WiFiの利用可能エリアを拡大すべき。



ガイド動画が視聴可能な  
ホッキョクグマのアイラ

普通教室のエアコン設置

○ 小中学校の保健室にはエアコンが設置されたが、近年の気温の上昇により、本市においても夏場は暑い日が続く傾向にあることから、児童・生徒の健康面に配慮し、普通教室へのエアコン設置を拡大していくべき。

審査6日目

ふるさと納税

○ ふるさと納税の登録サイト数の増加や返礼品の充実により、寄附額が前年の約8倍の約6億円となったが、寄附者が寄附金の使い道をより選択しやすいう見直しを検討すべき。

討論

○ 各会派を代表して、4人が認定および賛成の立場で、1人が不認定および反対の立場で討論を実施。

採決

○ 9人が認定および賛成、1人が不認定および反対となり、委員会として可決・認定すべきものとすることを決定。

※1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。  
※2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べる。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

不認定および反対

**稲葉 典昭議員（共産）**  
 コロナ危機は、社会の様々な問題を浮き彫りにし、非正規雇用で働く人々、特に女性が真っ先に仕事を奪われた。コロナ対策で足りないものは、情報と財源。感染の波が小さい今、次の波に対する対策の道との協議が必要。ワクチンと一体に大規模検査で感染の鎖を断つことが必要。地球温暖化と気候危機から地域を守るゼロエミッションを帯広市もすすめるべき。コロナ禍の中で「子どもの貧困」の対策は待ったなし、庁内連携で対策を。

認定および賛成

**石井 宏治議員（市政）**  
 令和2年度はまさにコロナ対策費一色の決算であり、それゆえ各自治体の対策の差が顕著に出たといっても過言ではない。帯広市は国・道の指針に従うのみのコロナ対策をしている感が否めず、ワクチン接種も議会・団体からの度重なる要望で言われてやった感が強く、また定額給付金・飲食業界への支援金に対しても初動の遅さは市民の怒りさえ買っている。今回は緊急コロナ禍体制時という事もあり、賛成とする。

認定および賛成

**榎山 直義議員（立憲）**  
 今後は、感染防止と経済再生の両立を探りながらアフターコロナの人手不足やデジタル化、業界再編などの様々な難題に対応しなければならぬ。そのために、積上げてきた実績を基礎とした新たな仕組み作りに向けて、これから、そして4期目こそ、市長の真価を発揮すべき時。「誰もが夢や希望をもち、安心して豊かに暮らし続けることができるまちづくり」に向けて米沢市長と職員各位の一層の奮闘に期待する。

認定および賛成

**藤澤 昌隆議員（公明）**  
 公明党会派を代表して、令和2年度各会計決算に対し、認定の立場で討論に参加する。  
 まず全体を見ると、単年度収支、実質単年度収支は黒字であるが、経常収支比率は90%台と財政の硬直化は依然改善していない。  
 感染症対策はもちろんのこと、経済を回し、事業者を支援し、困窮している市民に支援が行き届く施策の充実を求め、賛成の討論とする。

認定および賛成

**稗貫 秀次議員（開政）**  
 令和2年度決算に対し認定の立場で討論に参加する。一般会計、特別会計の決算は、歳入から歳出と次年度への繰越財源を引いた実質収支が黒字になったことは評価したい。コロナ禍という経験したことのない中で、市政執行は大変難しいこと取りであることは十分に理解するが、市民の心よりどころは帯広市の行政運営である。今議会の議論を真摯に受け止め、たくましい元気な帯広をつくるため、全力で市政執行にあたることを要望する。

議案第65号を不認定

**小森 唯永議員（開政）**  
 中心市街地再開発事業において権利変換計画書の数字がまだ明らかにされていない。市と施行者間の事業進捗にかかわる部分、裁判所の開示命令により明らかになった議事録に対する議会への反省はなく、議会からの幾度の開示要求は、まだに全く無視。補助金に関する最も重要な計画書が黒塗りでしか示されていない。議員にはチェック機能が与えられていないのか。経緯を勘案するに、市の言い分は信用できないため不認定とする。

賛否の分かれた議案

賛成・・・○ 反対・・・× ※議長は議事に対し賛否を表明できません  
 すべての案件については市議会ホームページで公開しています。



<令和3年 第6回 帯広市議会 定例会 採決結果一覧表>

市政…市政会 立憲…立憲民主・市民連合 公明…公明党 開政…開政会 共産…日本共産党帯広市議会議員団

議案名等	議決結果	議員名等																													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	
議案第65号	令和2年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第66号	令和2年度帯広市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第67号	令和2年度帯広市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第68号	令和2年度帯広市介護保険会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第69号	令和2年度帯広市中島靈園事業会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第70号	令和2年度帯広市ばんえい競馬会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第72号	令和2年度帯広市空港事業会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第73号	令和2年度帯広市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
議案第74号	令和2年度帯広市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

**安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書**

～要約～

- 1 検査・検疫などを強化・拡充し、医療・介護従事者を守るための体制を整備
- 2 十分な財源確保と公衆衛生行政の充実
- 3 地域の声を踏まえた医療体制の充実
- 4 医療・介護従事者などの大幅増員のための環境整備
- 5 社会保障にかかわる国民の負担軽減

**コロナ禍における農畜産物の消費拡大及び高温・干ばつによる農作物被害対策を求める意見書**

～要約～

- 1 コロナの一刻も早い収束に向けた対策と、農畜産物の消費拡大・価格回復に向けた対策の強化
- 2 高温・干ばつによる農作物被害への対策の実施

**林業・木材産業の持続的発展に向けた施策の充実・強化を求める意見書**

～要約～

- 1 適切な間伐と伐採後の再造林などに必要な森林整備事業や、防災・減災対策の推進に必要な治山事業の十分な予算確保
- 2 林業イノベーションの推進、生産・流通体制の強化、木材の販路拡大、森林づくりを担う人材の育成などに必要な支援の充実・強化

国会等へ意見書3件を提出

総務

**重点調査項目**  
地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行財政運営／地域防災

**理事者報告**  
〔8月〕第2期帯広市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況等／帯広市まちづくり基本条例適合状況等の検討

**質問通告**  
〔8月〕中島霊園の管理状況と合葬墓  
〔11月〕衆議院議員選挙の投票結果と今後の考え方／市民の投票権と投票所の環境整備

厚生

**重点調査項目**  
保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

**理事者報告**  
〔11月〕帯広市日赤東保育所の移管先法人の決定

**質問通告**  
〔8月〕再犯防止推進計画の進捗と市の取組み／生活困窮者への支援のあり方／こども食堂  
〔11月〕無料低額診療の薬代助成／生活保護冬期加算の特別基準

**付託案件**  
〔陳情第3号〕「安全・安心の医療・介護の実現」を求める意見書提出

経済文教

**重点調査項目**  
農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

**理事者報告**  
〔8月〕農作物の生育状況／大空小学校跡地施設活用方針（案）  
〔11月〕令和3年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書

**質問通告**  
〔8月〕搭乗前モニタリング検査／おびひろ動物園の運営／平和学習における百年記念館の役割  
〔11月〕インボイス制度がシルバー

建設

**重点調査項目**  
都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上・下水道の維持管理

**理事者報告**  
〔11月〕第3期帯広市耐震改修促進計画（原案）／十勝圏複合事務組合における新中間処理施設の整備検討状況の報告

**質問通告**  
〔8月〕河川管理／樋門の管理

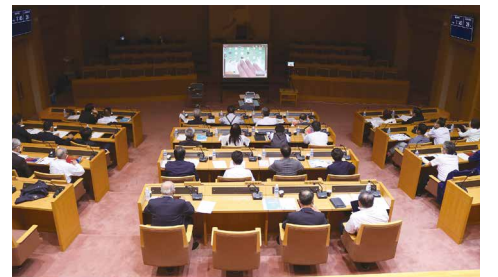
議会運営

**協議事項**  
令和3年第6・7回定例会の運営／議会運営検討項目／議会基本条例に基づく取組み

**付託案件**  
〔陳情第5号〕帯広市内事業者への時限救済制度立案の際の給付条件

議会トピックス ②

議会のICT化をテーマに研修会を行いました



オンラインにより、説明を受ける様子



タブレット端末を操作している様子

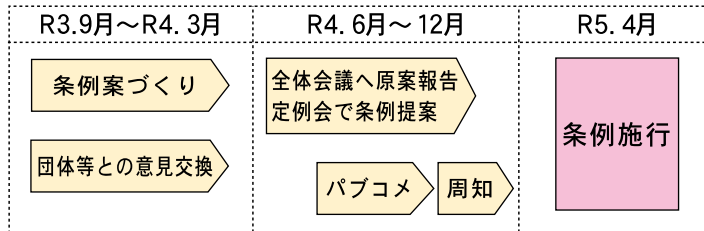
令和3年8月10日に議会運営委員会の検討事項である「議会のICT化」について、オンラインで研修会を実施しました。タブレット端末に、議案や予算書・決算書などのデータを取り込み、実際に操作体験をすることでタブレット端末の利便性を実感しました。

議会トピックス ①

食育の推進について、議員政策研究会検討チームが全体会議で中間報告を行いました

令和3年10月1日に議員政策研究会検討チームによる中間報告を行いました。検討チームでは、4つの課題解決のために条例制定により目指す3つの理想像とその実現に向けた中間目標を下表のとおり整理しました。今後、令和5年4月の食育推進条例の施行に向け、右図の予定ですすすめていきます。

＜今後のスケジュール予定＞



＜食を取り巻く現状と課題＞

- ①食生活が乱れている
- ②食への関心・知識が足りない
- ③食への感謝が薄い、大量の食品ロス
- ④地域の食文化への理解・地産地消が不十分

＜条例制定により目指す3つの理想像とその実現に向けた中間目標＞

3つの理想像	中間目標（主体ごとの期待する姿）の要旨
市民一人ひとりが 食に関する高い関心や、正しい知識を持っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が、食の知識の普及啓発や、市民による食育の活動のサポートを積極的に行っている</li> <li>市民一人ひとりが、食の知識を積極的に学んでいる</li> <li>家庭で、みんなが健全な食生活を送っており、そのための知識が子どもに教えられている</li> <li>学校で、授業など色々な機会を活用し、食の知識が積極的に教えられている</li> <li>医者や食の専門家などが、食に関する啓発や指導を積極的に行っている</li> </ul>
食への感謝の気持ちや、食を通じた環境にやさしい行動への高い意識を持っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が、食べ物のありがたさや、食品ロス削減などの啓発を積極的に行っている</li> <li>家庭や学校で、食べ物のありがたさや、食品ロス削減などが積極的に教えられている</li> </ul>
地域の農畜産物や食文化への理解と誇りを持っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が、地産元の肉・野菜や食文化の普及啓発を積極的に行っている</li> <li>家庭で、みんなが地元産の肉・野菜や郷土料理を日常生活に取り入れていて、郷土料理のことが子どもに教えられている</li> <li>学校で、地域の農業や地元産の肉・野菜の良さなどが積極的に教えられている</li> <li>農家が、地域の農業や地元産の肉・野菜の良さなどを市民に積極的にPRしている</li> </ul>

～令和4年3月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時	会議内容
1日（初日） 13時～	本会議
2日 10時～	議案審査特別委員会
7日～11日、※7日は予備日 10時～	一般質問
14日～18日、22日 10時～	予算審査特別委員会
24日（最終日） 13時～	本会議

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。（感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります）
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、生中継と録画映像配信を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。

帯広市議会 [検索](#)

※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

編集後記

9月定例会では決算審査特別委員会が開かれ、令和2年度の市の予算の使われ方について審査しました。委員会での議論を通して、コロナが地域の経済、医療、福祉に与えた影響や課題も明らかにされ、よりよい施策に生かされるよう各議員からの提案も多く出されました。詳しい議会の様子はホームページから録画映像も確認することができます。議会だよりとあわせてご覧ください。

（編集委員 大平 亮介）